

掲示板

一関青少年合唱団員募集

平成10年の設立以来、週1回の練習を楽しく続けています。市内外の演奏会に積極的に参加し、練習の成果を発表しています。いろいろな学校から集まったたくさんの歌好きな仲間と合唱をつくり上げましょう。

- ◆活動日…毎週④14:00～16:00
- ◆会場…山目公民館
- ◆入団資格…小学生以上
- ◆会費…月1500円(楽譜代など)
- ◎問い合わせ先…同事務局・大畑 ☎23-9570

NHK学園受講者募集

NHK学園では、生涯学習講座の受講者を募集しています。趣味から資格まで全200コース以上。まずは無料の案内書をご請求ください。

- ◆募集期間…通年
- ◎問い合わせ先…NHK学園 ☎042-572-3151 案内書請求フリーダイヤル0120-06-8881

大正時代の蒸気ポンプを披露



大正9年から昭和23年まで活躍した蒸気消防ポンプの放水を披露します。実際に放水できる蒸気ポンプは全国でもこの1台といわれている貴重なものです。

このほか、腕用ポンプ、ガソリンエンジン付き手引きポンプの放水も行います。

- ◆日時…3月7日④15:00～
- ◆会場…クボホームセンター駐車場(大東町摺沢)
- ◎問い合わせ先…市消防団大東地域第3分団・千葉 ☎75-3177

地産地消型商店街目指しイベント

東北学院大と市、商店街関係者、ベガルタ仙台などで構成する「いちのせき元気会議」が主催して行います。

地元商店街と地元の自然、農業、工業との連携を強めながら、市民(消費者)ともつながり、結果として、いきいきとした生産活動と安心して買い物ができる、そんな仲立ちのできる「地産地消型商店街」の形成を目指すための試験的なイベントです。

- ◆日時…3月6日④10:00～16:00(予定)
- ◆会場…大町、一関文化センター体育館
- ◆内容…▷一関地産地消アンテナショップ試験開催▷ベガルタ仙台親子サッカー教室(対象:小学1～3年生30人)13:00～14:30▷公開パリアフリー調査▷もちもち文化のポスターセッション
- ◎問い合わせ先…いちのせき市民活動センター ☎26-6400

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
次回4月1日号の締め切りは3月10日④です。
詳しくは、本庁秘書広報課広報広聴係 ☎21-8182へ。

市長語録 No.2 一関市長 勝部 修

1月16日「明日の川崎を築く住民活動研究集会(講話)」

昨年、砂鉄川上流の大原下内野地区で川の石みがきを体験しました。

お年寄りから子供まで、東京からも多くの人々が参加して川をきれいにしようと石を磨いていました。

中流の東山町では、猊鼻溪に多くの観光客が訪れ、砂鉄川の清流を楽しんでいました。平成14年の台風災害からの復旧工事も終わりました。

そして下流部にある川崎町は、上流域、中流域の「思い」を受け継いで、北上川本流に渡す役目があります。

流域の連携は、このような心の連携をも含むものと思います。

1月17日「狐禅寺地区新年交賀会(講話)」

私の考える「協働」とは、①共通の目的(共有) ②対等性(市民と行政の関係) ③対話と合意の重視 ④過程の公開 ⑤ということだ。

「協働」という言葉を上滑りさせないように。言葉のファッション、ス

ローガンに終わらせてはならないと思います。

1月25日「森林組合との意見交換」
全体としての事業量が減少している中で、間伐～搬送～加工～販売という上流から下流に向けての流れが順調にいけない感じがします。

雇用創出という面からも新たなフィールドとして林業をとらえていくべきです。

CO₂を抑制するという期待も大きく、今こそ知恵を出しあうことが必要だと思います。

1月28日「両磐インダストリアルプラザ定例会」

わが国は雇用の問題で、入り口の部分と出口の部分での対応が十分な形となっていない。

入り口(採用)の問題は、正規・非正規の問題で、派遣労働への対応に代表される。出口(失業)の問題は、派遣切りのように再び雇用の枠組みの中に戻していくための仕組みができていないことです。



いわて南牛フェアで消費者と触れ合い(2月7日)

産学官連携について、言葉の上滑りにならないよう注意しなければなりません。

私は、産学官連携を川の流りに例えて表現しています。上流部においては流れが急で大きな岩(研究の壁)にはじかれて飛び散ってしまうこともあります。中流域になると、いろんな支流(協力企業など)が混ざり合います。まさに産学官の出合いの場ですが、この支流との合流点では「よどみ」が出現しやすいものです。下流域では川幅も広がるが、商品化へ向けさらに多くの関係者が加わりますが、流れも遅くなります。



鮮やかに彩色された永澤寺の石仏三十三観音

千厩町警清水字萩生田の永澤寺本堂には、江戸時代中期の享保年間(1716～1736)の作と伝えられる石仏三十三観音像が安置されています。これらの観音像は、高さは59.7～64.2センチ、幅は24.7～28.8センチ、厚さは11～20.4センチで、いずれも石灰岩前面の縁を面取りして平滑に仕上げ、観音像を浮き彫りにしています。形状は舟形、彫りは薄肉彫りで朱・緑青・金を用いて鮮やかに彩色されており、その保存状態も比較的良好です。

三十三観音信仰は、「三十三応現身」の教えに基づくもので、観音菩薩があまねく衆生を救うために変化した三十三の姿であるといわれているもの。この石仏群も楊柳観音や龍頭観音をはじめとした多様な三十三体の観音で構成されています。

千厩町と隣接する室根町においても、安永5(1776)年に奉納された「室根山石造三十三観音」が現存していることから、江戸中期に日本に広まったとされるこの信仰が、当地方にも息づいていたことをうかがい知ることが出来ます。

平成11年、旧千厩町教育委員会が岩手県立博物館に調査を依頼し、詳細な調査が行われました。その結果、全国的にもあまり類例のない石仏群であるとともに、美術的な面でも石彫彩色仏として貴重なものであることが判明し、12年3月、千厩町有形文化財として指定されました。現在は、市の指定文化財として引き継がれています。

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

初級問題(小・中学生向き)

【問題】 4395円で、上、中、下の3つのランクの甘酒を買います。それぞれ1ℓあたり上は110円、中は90円、下は70円です。中は上の4分の1、下は上の5分の1の量を買う時、それぞれ何ℓずつでしょうか。

【答え】

上の甘酒 30ℓ
中の甘酒 7.5ℓ
下の甘酒 6ℓ

解答例は、博物館で配布するほか、博物館ホームページでもご覧になれます。

受賞者 正解者の氏名などは、この日から博物館に掲示します。また、今回の問題があった和算の本や関連資料による解説も5月末まで展示しますのでぜひおいでください。

一関市博物館館長賞、岩手県和算研究会会長賞、優秀賞、和算博士賞の22人を選考し、3月6日午後1時30分から、博物館で表彰式を開催します。

受賞者 正解者の氏名などは、この日から博物館に掲示します。また、今回の問題があった和算の本や関連資料による解説も5月末まで展示しますのでぜひおいでください。

永澤寺石仏三十三観音像

千厩町

文化財探訪

◎問い合わせ先
千厩支所教育文化課
☎39379

「和算に挑戦 正解は7割
3月6日に表彰式を開催

広報12月1日号でご案内した第8回「和算に挑戦」、解いてみましたか？

今回は、北海道から沖縄まで、全国から921人、小学1年生から86歳まで幅広い年代の皆さんから応募がありました。解答数は1207件、そのうち約7割が正解でした。

一関市博物館館長賞、岩手県和算研究会会長賞、優秀賞、和算博士賞の22人を選考し、3月6日午後1時30分から、博物館で表彰式を開催します。

受賞者 正解者の氏名などは、この日から博物館に掲示します。また、今回の問題があった和算の本や関連資料による解説も5月末まで展示しますのでぜひおいでください。

解答例は、博物館で配布するほか、博物館ホームページでもご覧になれます。